

国際交流基金助成事業報告書

薬科学薬学研究科 博士後期課程 1 年次

製剤設計学研究室

謝 晋頤

1. はじめに

このたび、国際交流基金助成金の援助を受け、アメリカ・サンアントニオの Henry B. Gonzalez Convention Center において開催された、AAPS PharmSci 360 2019 へ参加し、自身の研究成果を発表したので、これを報告する。

2. 学会について

AAPS 学会は 1986 年のワシントンにてはじめて開催された歴史のある学会であり、世界中の薬学研究者が議論を交わす場を提供している。AAPS PharmSci 360 2019 では、Preclinical Development、Bioanalytics、Clinical Pharmacology、Manufacturing & Bioprocessing、Formulation & Quality の 5 つのテーマ掲げ、薬学における最新の技術を共有、議論することで、この分野のさらなる発展を促している。

3. 学会の様子

3.1 発表内容



写真 1 会場にて



写真 2 宿泊施設

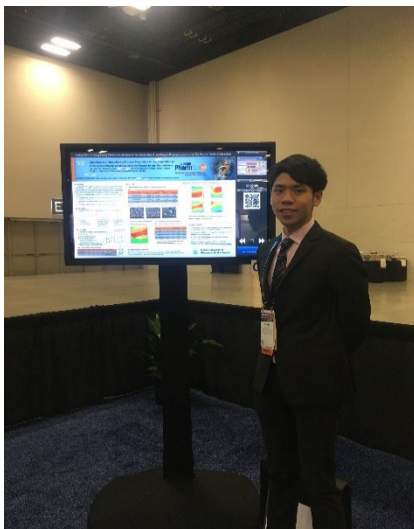


写真 3 ポスター発表会場

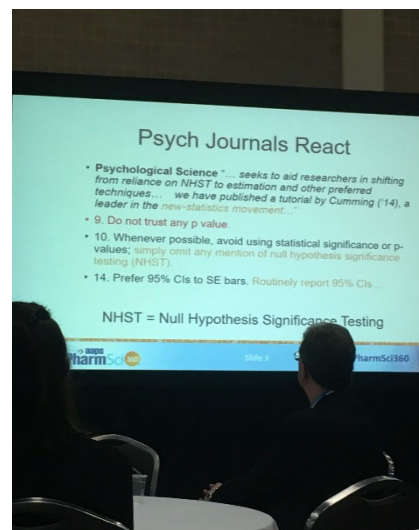


写真 4 口頭発表の様子

発表会場は、主に口頭発表とポスター発表に分かれており、私は学会 2 日目の **Formulation & Quality** のセッションにおいて、ポスター発表を行った。発表の間に、様々な国から来た参加者に質問をいただき、議論し、コミュニケーションをとったことで、充実した一時間を過ごすことができた。ポスター発表に来てくださった参加者の一人がアメリカの **Food and Drug Administration** の方で、私のテーマについて貴重なコメントをいただくことができ、とても勉強になった。

また、学会で同世代の研究者や大学院生のハイレベルな発表を拝聴することで、自身の研究活動へのモチベーションの向上に繋がった。

3.2 その他

学会初日に会場に近い **Grand Hyatt San Antonio** において、ウェルカムパーティーが行われた。立食形式で、アメリカ料理やお酒が振る舞われ、学会参加者と交流した。日本人の方とはもちろん、アメリカや韓国や中国の方々とも交流でき、楽しく過ごすことができた。また、この場で知り合った学生と仲良くなり、他の分野の講演にも一緒に参加する友達が多かった。



写真 5 歓迎会の様子



写真 6 アラモ伝道所の遺跡

4. サンアントニオについて

サンアントニオはテキサス州にあり、スペイン人宣教師アントニオ・デ・オリバレス司教が命名した地である。観光地の中で最も有名なのは、テキサス独立戦争の戦跡であるアラモ伝道所であり、観光客も多く見受けられた。また、サンアントニオはリバーウォークが有名であり、リバーサイドで食事を楽しむことができた。

5. 最後に

今回、国際交流基金助成事業の助成金により、**AAPS PharmSci 360 2019** に参加させていただくことで、自身の研究に関する知識を深めるとともに、国際学会で発表するという貴重な経験を得ることができた。最後に、このような貴重な機会を与えて下さった、戸塚裕一教授およびご支援いただいた多くの方々に、心からの感謝を表し、報告とさせていただきます。